

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- 創立：昭和54年1月23日
- 例会：毎週火曜日17:30
- 事務所：奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 0742-33-8583/FAX 0742-33-8600
- 例会場：奈良市高畑町1096番地
奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
- 会長：中村信清 ■副会長：多田実 幹事：高野治

発行日 / 2016年2月23日
2015-2016/28

Vol.37

No. 1774

hp:http://naraomiya-rc.jp
E-mail: info@naraomiya-rc.jp

2015-16年度当クラブテーマ

『和と飛躍』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 中澤 忠嗣

「クラブに「個性」と
「憧れ」を！」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶:多田実副会長(会長代理)

副会長として挨拶をするわけにはいきませんので、持ち回りで理事会を開きまして、次学年度米山奨学生のカウンセラーを決めましたので、ご報告いたします。2016年4月からの米山奨学生カウンセラーとして石野さんをお願いすることになりました。これは理事会で決まりましたので、よろしく願いいたします。

委員会報告

姉妹・友好担当委員会：植村副委員長

谷川委員長が本日お休みですので、代理で報告いたします。先週2月9日火曜日に、奈良大宮ロータリークラブより、9名の者が太宰府ロータリークラブを表敬訪問いたしました。お昼前に到着いたしまして、例会に参加させていただき、そしてマイクロバス一台をチャーターしてもらい、太宰府天満宮、その周辺を観光案内してもらいました。夜は中洲に移動しまして水炊きをいただき、その後また二次会もいただき、大変大変お世話になった次第でございます。多田副会長は残念ながら先に帰られたんですが、残り8名、中洲の夜を堪能してまいりました。また次年度は太宰府40周年の周年事業となりますので、たくさんの方のメンバーで訪問したいな、というふうに考えております。

雑誌・広報委員会：森山委員長

次年度の「ロータリー手帳」の予約注文の案内が来ております。一冊600円+消費税になっておりますので、みなさんよろしかったらご注文ください。各テーブルに回覧いたしますので、よろしくお願い致します。

親睦活動委員会：河野委員

毎年恒例となっております鷗尾の会親睦ゴルフ大会が、4月21日、場所は万壽ゴルフクラブで開催されます。多数のご参加、よろしくお願い致します。

例会プログラム

第29回2月23日
通算1774回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「奈良大宮ロータリー
クラブの歌」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話
公益財団法人
奈良県防犯協会
専務理事 森岡 秀 様
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第28回 2月16日
通算1773回

◎会員総数	73名
◎出席義務者	46名
◎出席規定免除者(a)	0名
◎出席規定免除者(b)	27名
◎本日出席	53名
◎本日欠席	11名
◎本日出席率	82.81%

第26回 1月26日
通算1771回の修正

◎欠席者	5名
◎免除者の欠席者	8名
◎欠席者の補填者	5名
◎免除者の補填者	3名
◎出席率	100%

幹事報告

本日状差しに入れておりますが、「音楽を楽しむ会」の案内が来ております。これは奈良県下のロータリーの第二グループ7クラブとEクラブ合わせまして、8クラブで企画しておられる催しもので、2月21日橿原文化会館大ホールで行われるそうです。入場は無料ということですので、ご興味のある方はぜひご参加いただければ、と思います。

2月お誕生日・結婚記念日

★お誕生日★

11日	野末	勝宏	君
12日	辻本	和弘	君
16日	河野	里志	君
22日	西口	栄一	君
23日	梅谷	裕規	君

★結婚記念日★

6日	楠下	重郎	君
6日	小西	敏文	君
11日	武藤	廣茂	君
14日	中條	章夫	君
21日	有井	邦夫	君
23日	森下	泰行	君



卓話

アサヒビール(株) 大阪統括支社 大阪奈良支店副支店長 佐々木台行様
『竹鶴政孝～夢の原点と受け継がれる想い～』

皆さん、こんにちは。アサヒビール大阪奈良支店の佐々木でございます。本日はお招きいただきまして誠にありがとうございます。また平素は皆さまにアサヒビールをご愛飲いただきまして、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございます。

本日はニッカウキスキーの創業者として、日本のウイスキーの師と呼ばれております竹鶴政孝氏の生い立ちやその生き様をご紹介したいと思います。併せて、ニッカウキスキーという会社が大切にしていることなどを紹介できればと思っております。

なぜ、アサヒビールがニッカウキスキーの紹介を、と不思議に思われる方がいらっしゃるかと思いますが、2001年にアサヒビールとニッカウキスキーが経営統合いたしました。ニッカウキスキーは洋酒の製造会社、アサヒビールはニッカブランドを販売するという体制となっております。そういったことでよろしく願います。さて、竹鶴政孝さんは自分の人生についてこのように語っておられます。

「ウイスキー一筋で生きてきた。その意味では一行で片づく男である」

勿論、このような簡単な言葉で終わる人生ではなく波乱万丈、大変な苦労があったということは間違いございません。ただ、ご本人が言うように政孝さんは確固たるひとつの信念をもっておられました。それは、『スコッチに負けない本物のウイスキーを日本で造りたい。日本のより多くの人に本物のウイスキーを飲んでほしい』という想いがございます。その想いは生涯変わることなく、政孝さんを突き動かす夢となりました。ニッカウキスキーの紋章の左右は、神社等にありますが狛犬でございます。そして真ん中は広島の実業家である山中鹿之助さんのカブト



となっておりまして、この紋章からもスコッチには絶対に負けない、本物のウイスキーを日本で造りたいという竹鶴政孝さんの強い信念が込められているということでございます。続いて幼少時代から青年時代をご紹介したいと思います。政孝さんは四男五女、9人兄弟の三男でした。少年時代はかなりワンパクだったようです。暴れん坊を通り越してガキ大将という感じで、いつも生傷だらけだったそうです。8歳の時に2階から転げ落ちてしまいました。その時に鼻を強打されまして、何とか命は助かったのですが大変な怪我だったということです。ただ、鼻を打ったおかげで、やたらと鼻が利くようになったそうです。ですからこの怪我が幸いなのか災いなのか分かりませんが、もしこの事件が無かったら日本のウイスキーの歴史は少し違ったものになっていたかも知れません。政孝さんは少年時代の事をこのように語っておられます。断片的なご紹介でございますが、父は「酒は、つくる人のこころが移るもんだ」と、口ぐせのようによく言っていた。私たち子供はまだ酒のにおいの残る樽のかけで、よくカクレンボをした。このように、物心がついたときには、すでに酒の世界が私を包んでいた。父の酒づくりの態度は厳しかった。神聖な気持ちとからだで酒づくりにぶつかっていた。今から思うと、酒づくりの厳しさは、いつの間にか父を通して、私の血や肉になっていたようである。このような幼少体験が政孝さんの原点であり、人生そのものになったものと思っております。政孝さんには二人のお兄さんがおりましたけれども、お二人は早々にご自分の道を歩みまして、家業を継ぐのは政孝さんしか居なくなり、その勉強として大阪高等工業学校、今の大阪大学です。その醸造科に進学されます。柔道をしておられ、体も大きかった。進学後、政孝さんの興味は清酒ではなく洋酒の方に向いていったそうです。そんななか、本来は卒業して実家に帰るべきなのですが、当時、洋酒メーカーの大手だった大阪の摂津酒造に、押しかけ青田売りとして入社、自分から売り込んで入社されたということです。摂津酒造の阿部社長から、なぜ清酒ではなく洋酒かと問われた際に「それは新しい酒だから、学校での勉強を洋酒づくりで試してみたい、清酒はすでに伝統が出来上がっている、洋酒は日本で始まったばかりでまだこれからだと聞いている」といった旨を語りました。摂津酒造さんは当時、寿屋さん、今のサントリーさんから赤玉ポートワインの製造委託をされており、ある夏に店頭でポートワインが破裂する事故が頻発したそうです。ところが、政孝さんが造ったものは一本も割れなかったそうです。この辺りからも政孝さんの父親譲りの酒づくりの姿勢が感じられると思います。では、当時のウイスキーとはどういうものだったか、大正5年、政孝さんが摂津酒造に入社した時も、摂津酒造で造っていた洋酒はアルコール、香料、着色料、甘味料を加えたイミテーションの域を出るものではありませんでした。摂津酒造の阿部社長も本格ウイスキーに対する憧れと野心をもっておりました。日本でウイスキーと呼んでいる洋酒がまがい物であることは誰よりも政孝さんが分かっておりました。そこで、阿部社長は政孝さんに本場スコットランドに渡ってモルトウイスキーの製法を学んでもらい、本格ウイスキーを摂津酒造で造りたいという考えに及んだそうです。政孝さんにとってもスコットランド留学は願ってもない話でした。ただ一つ気がかりだったのは、ご両親です。酒を継ぐと聞いて勉強したにも関わらずスコットランドに行くというのはどういうことか、ということになりました。反対のあるなか、阿部社長が政孝さんの実家のある竹原まで出向かれてご両親を説得され、何とか留学できることになりました。スコットランドに渡った政孝さんは決してあてや伝手があって行った留学ではありませんでしたので、最初はグラスゴー大学の応用科学科に聴講生として留学されます。そこでウイスキーの醸造を勉強されました。ただ、勉強するだけでしたらもうすでに日本でやっておりますので、一日も早く蒸留所で実習したいと思っておりました。そんななか、蒸留所を訪問しては断られ続ける状態が続きましたけれども政孝さんは諦めずドアを叩き続けました。1919年～20年にかけて3つの蒸留所での実習が実現しました。ただし、そこでの実習はメモを取ったり写真を撮ったりしてはいけないという条件で実現した実習だったそうです。ですから、白衣のポケットに小さな紙切れと鉛筆を入れてメモを取り、毎晩ホテルで清書をして『竹鶴ノート』という実習報告書を作り上げたようです。これが我々のなかでは所謂、日本のウイスキー造りのバイブルというように言われております。ただ、その行為は今で言うと産業スパイに当たるのかも知れません。

ここで少し話を変えまして、NHKの連続ドラマ『マッサン』でも話題になりました奥様のリタさんの紹介をいたします。リタさんは1896年、グラスゴーの郊外の医師の家に生まれます。政孝さんの2つ下ということになりますが、四人兄弟の長女でございます。当時、妹のエラさんがグラスゴー大学の医学部に通っておりまして、そこでグラスゴー大学の聴講生として通っていた政孝さんと知り合います。エラさんは政孝さんに自分の弟に柔道を教えてくれ、と依頼したそうです。これをきっかけに政孝さんはリタさんの実家に通うようになりました。政孝さんは、つつましく控えめに政孝さんを見つめる長女のリタさんに惹かれました。また、リタさんも東洋のハンサムで凛凛しい青年に恋心を抱くようになりました。ふたりの恋愛物語にこのようなものがあります。当時、政孝さんはリタさんの実家のクリスマスパーティに招待されました。そこで、イベントとして、男性が6ペンス銀貨を、女性が指貫を当てると、将来ふたり

は結ばれるのだそうです。このクリスマスパーティでリタさんは指貫を、政孝さんは6ペンス銀貨を当てられたそうです。お互いに意識していた仲ですので、きっと運命を感じたのではないかと思っております。そして1920年、ついにリタさんと政孝さんは結婚されます。当時ですので、大変めずらしい国際結婚です。当然、ご両家の親族からも猛反対されたそうです。登記所での登記結婚をされました。政孝さんはリタさんを気遣い、「もしあなたが望まれるのなら、わたしは日本に帰るのを断念してこの国に留まり、職を探してもいいと考えています」と言われました。逆にリタさんから、「あなたは大きな夢に生きていらっしゃる。その夢は日本で本物のウイスキーをつくること。私もその夢を共に生き、お手伝いしたいのです」と背中を押されました。リタさんはか細くて体が丈夫ではなかったのですが、大変芯の強い情熱をもった女性だったそうです。1910年、政孝さんはリタさんを伴って帰国されます。リタさんが日本にきて最初にしたことは、日本の生活に馴染むことでした。日々努力を惜しまず、日本の女性以上に日本女性らしくなられました。大阪に来られましたので関西弁でした。政孝さんのことを最初はマサタカさんと呼んでおりましたけれども、これが次第に縮まり「マッサン」になりました。マッサンとリタさんは人の羨む仲睦まじい夫婦でした。

ここで話を政孝さんに戻します。やっと足かけ3年の研修が終わりまして、1920年に政孝さんが帰国した当時は、戦争後の大不況の真っ只中でした。そんななか、摂津酒造が本格ウイスキー造りを断念してしまいます。政孝さんは、ウイスキーを造れないのに高い給料を払って貰っているのは申し訳ないと辞表を出され浪人生活を送られます。政孝さんは、そのときの阿部社長の沈んだ顔、恩愛に満ちた眼差しは終生忘れることが出来ないと語られています。摂津酒造を退社された政孝さんは、技術はあってもウイスキーを造る資本が無いという状況でした。そんななか、政孝さんと全く逆の悩みをもった方が現れます。それがサントリーの創業者である鳥居信治郎氏でした。鳥居さんはイミテーションウイスキーが蔓延する状況を改善したいと考えておられました。そこでイギリスの方に相談したところ、先方からスコットランドでウイスキー造りを勉強して日本に戻った竹鶴という男がいるということを見つけます。そこで、竹鶴さんの所を訪れまして10年契約で寿屋さんに入社し蒸留所を建設し技師を育ててくれるようにと頼みます。これは政孝さんにとってもまたと無い話ですので快く寿屋さんに入社し、早速と工場の用地を選定しました。ここで、鳥居さんと政孝さんの意見が食い違いまして、政孝さんはスコットランドに似た北海道が最適と思っていたのですが、当時は物流が不便な時代でしたので、結局近場の近畿圏内で探すことになりました。鳥居さんは、お客さんに見ていただける場所ということで大阪に建設してほしいと言ったそうです。結果、最初の蒸留所は山崎に決まり、政孝さんは山崎の初代工場長となりました。ですから、サントリーさんの初代工場長は竹鶴さんということになります。そして10年の契約を終えた後、1934年に自分の理想とするウイスキーを造るべく独立をされます。やはりここでも問題となるのは資金でした。そんななか、加賀正太郎、芝川又四郎という関西の財界人の方が出資をして助けてくれます。これには裏話がありまして、この二人の奥様やお子様たちにリタさんが、英会話やピアノの家庭教師をするなどして非常に懇意にされていたそうです。その甲斐もあってお金を貸してくれたみたいです。内助の功といえますが、リタさんがいなければニッカウキスキーは無かったかも知れません。ちなみに加賀さんは証券会社の社長様、芝川さんは不動産会社の社長様だったそうです。また、国会議員の野田聖子さんのお婆様もリタさんに英語を教わったそうです。そうして、渡英から16年後にようやく念願が叶い北海道でのウイスキー造りが始まります。ウイスキーというのは、仕込んでから熟成して商品になるまでには数年間かかります。その数年間、資金を稼ぐ必要がありますので、りんごをジュースやアップルワインにして経営を繋いでいたそうです。ですから、当時の社名を大日本果汁株式会社にされました。当時はジュースという言葉はありませんでしたので、林檎汁という名前でした。1940年に第一号のウイスキーが発売され、この時に大日本果汁の『日』と『果』をとって『日果』（ニッカウキスキー）という名前が生まれます。このニッカウキスキーの『キ』の字がございますね、カタカナの『イ』を使わずに『キ』を使うのは、やはりウイスキーは水が命ですので、井戸の井を使いたいという気持ちが込められているとこのこととございます。その後も様々な商品が生まれましたが、政孝さんは一切の妥協をしないという商品づくりをしてこられました。そのような思いから政孝さんは1963年にブレンデッドウイスキーをつくるカフェ式連続式蒸留機を導入し、1969年に宮城峡蒸留所を設立されます。よくウイスキーでハイランド、ローランドと呼ばれるのですが、ハイランドは余市ですね、力強く男性的なモルト、そしてローランドが宮城峡、柔らかくて華やかなモルト、それとグレンウイスキー、この3つの個性の違うモルトを持つ事によってスコットランドに負けない本格的なウイスキーを造ることができるようになりました。

また、政孝さんは優秀なブレンダーチームをつくるということをおきまして部下の指導にあたりました。ニッカウキスキーのブレンダーはこう語っております。「竹鶴政孝さんの伝えた伝統的なウイスキーづくりを重んじながら、その時代の求める新しいウイスキーづくりに

挑戦し続ける」ニッカウヰスキーのブレンダーには、今もなお政孝さんの技と志がしっかりと受け継がれております。政孝さんは、「良いものをつくることが自分の使命、だからこそ本物にこだわる」と、生涯にわたって本物にこだわり続けてこられました。そうしたこだわりは時に様々な困難、時には経営的に厳しい時代もありましたけれども、政孝さんは日本人に本物のウヰスキーを飲んでもらいたいという想いで乗り越えてこられました。そうした姿勢は今のニッカウヰスキーにもしっかりと受け継がれております。

これで私の話は終わりますが、是非また皆さんもこれを機会に日本のウヰスキーを今まで以上に愛していただきまして、できましたらニッカウヰスキーをご愛飲いただきましたらありがとうございます。本日はありがとうございました。



☑☑☑☑箱

本日計 61,000円 累計 1,895,000円

- 高野 治 君 佐々木先生、本日の卓話、宜しくお願いいたします。先日太宰府にご同行いただいた皆様、ありがとうございました。
- 多田 廣 君 R財団への寄付で表彰されました。
- 高辻良成 君 先週太宰府RCを訪問し、中洲の夜で、大いにメンバーとの親睦を深めてまいりました。何から何までお世話になった谷川友好担当委員長、本当にありがとうございました。本日亡き父の十七回忌を行いました。月日のたつのは早いものです。
- 藤井正勝 君 情報集会第2班15名ご参加いただきありがとうございました。
- 武藤廣茂 君 先日は、記念日のお花送って頂き、ありがとうございました。
- 森下泰行 君 結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。
- 金星 昇 君 寒くなりました。御自愛のほど！
- 潮田悦男 君 正月休みの代休をアメリカアリゾナ州で過ごしてきました。
- 増井義久 君 荒木さん、西本さん、春日はくたくうどん、会社で使用していただきありがとうございました。
- 矢追家麻呂 君 ニコニコに協力！
- 倉田智史 君 ニコニコ協力
- 堀内眞治 君 ニコニコ協力
- 中奥雅巳 君 ニコニコ協力
- 森 完二 君 ニコニコ協力
- 森山斗福 君 ニコニコ協力
- 辻本和弘 君 ニコニコ協力
- 市田富久 夫 君 ニコニコ協力
- 河野里志 君 ニコニコ協力
- 野崎隆男 君 ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

3 月

■やまとまほろばロータリークラブ■

- ・ 3月24日（木）・・・ 橿原RCとの合同夜間例会のため、
時間・場所変更。

時間：18時～

場所：橿原ロイヤルホテル

- ※ビジター受付：3月24日（木）12：00-12：30例会場
（駅前グリーンビル3階 大和信用金庫駅前別館）にて行います。

■橿原ロータリークラブ■

- ・ 3月25日（金）・・・ やまとまほろばRCとの合同夜間例会
のため、変更。

日時：3月24日（木）18時～

- ※ビジター受付：3月25日（金）12：00-12：30橿原ロイヤルホテル
フロント横にて行います。

■京都山城ロータリークラブ■

- ・ 3月30日（水）・・・ 定款第6条第1節（C）により、休会。
※ビジター受付：致しません。

■あすかロータリークラブ■

- ・ 3月3日（木）・・・ 夜間例会のため、時間変更。

時間：19時～

- ※ビジター受付：3月3日（木）12：00-12：30橿原ロイヤルホテル
フロント横にて行います。

- ・ 3月31日（木）・・・ 奈良東RCとの合同夜間例会のため、
時間変更。

日時：18時～

- ※ビジター受付：3月31日（木）12：00-12：30橿原ロイヤルホテル
フロント横にて行います。

■平城京ロータリークラブ■

- ・ 3月31日（木）・・・ 定款第6条第1節（C）により、休会。
※ビジター受付：致しません。

次回の例会

2016年3月1日(火) 卓話

講師 合同会社EditZ(エディッツ) 代表 松原 雄一 氏
演題 ふたり出版社が奈良の新雑誌を出す理由